

■発行日 令和3年 7月21日

■郡山市西田町木村字池の上18-2 あいた一男後援会事務所
■電話/FAX 024-983-0949

議会活動報告

郡山市議会6月定例議会が、6月11日から6月30日に開催されました。今回の定例会においても、會田一男市議会議員が6月22日(水)一般質問に登壇し、一問一答方式で活発な論戦をくり広げられました。会報では、一般質問の中から皆様に身近に関する事案を抜粋して掲載します。



質問 新型コロナウイルス感染症関連の支援策について

連日の新型コロナウイルス感染のニュースを見ますと、郡山市でも連日数名の感染者が発生しています。

その中であって感染ルートの把握と、緒に就いたばかりではありますがワクチン接種の対応にあたられている医療従事者と市職員の皆様に心より感謝申し上げます。

(1) ワクチン接種の完了目標について

ワクチンの入手状況により大きく変動があることは承知しておりますが、郡山市の接種完了目標はいつ頃にと考えているか見解を伺います。

回答 : 回答は全て保健福祉部 保健所 保健・感染症課

- ・ 65歳以上の高齢者に対する接種につきましては、4月12日から開始しており、国が目指す7月末を目途に希望する高齢者の方へのワクチン接種完了に向けて取り組んでおります。
- ・ 65歳未満の基礎疾患を有する方については、6月1日から申告受付を開始し、6月21日から年齢階層別に順次接種兼券を発送、60歳から64歳までの一般の方についても6月28日に接種券を発送し、12歳以上59歳以下の一般の方については、接種体制を確保したうえで、7月中旬以降、順次接種券を発送する予定であります。
- ・ 一方、寝たきりの高齢者やワクチン接種の対象外である12歳未満の児童への感染防止を図るため、6月12日から訪問介護事業所の職員を、6月19日から保育士、幼稚園教諭、子育て支援員等に、小・中学校教職員等についても7月5日の週から順次接種を開始する予定であります。

(2) 高齢者へのワクチン接種の周知について

現在まで、高齢者の集団接種予約の受付は3回行われましたが、3回目の予約につきましては、個別接種の予約開始と重複し、枠が残っている状態が続きました。

感染予防対策は、時間との戦いです。接種順位が高齢者からと決定されたのですから、高齢者には迷うことなく自ら積極的に申し込みを行い接種していただくために、さらに周知すべきと考えますが、見解を伺います。

回答

- ・ ワクチン接種は希望される方が対象となっており、強制するものではありませんが、報道機関の皆様のご協力をいただきながら、さまざまな広報媒体を活用し、ワクチン接種の周知に努めてまいります。
- ・ ちなみに、3月25日に接種券を発送した高齢者90,377人に対し、6月9日現在で約88%の方が接種予約を済ませ、6月18日現在で1回目の接種を終えられた方が43,134人で47.7%、2回目を終えられた方が13,510人で14.9%となっております。

(3) 職域接種の推進について

職域接種の話が出ています。

大規模な従業員を抱える企業や学校にとっては当然のことと思います。

また、学生は、市の職員は、と考えた時には医者に出向いていただいた方が効率的であると思います。

職域接種を行うには、医師の手配ですとか、ワクチンの確保とかの他に、重篤な副反応が出た場合の対応等の種々問題はあろうと思います。

しかし、ワクチン接種に関する地域の負担を軽減し、接種の加速化を図っていくためには、職域接種の推進が必要だと考えますことから、郡山市としてどのように対応していくのか見解を伺います。

回答

- ・市内の複数の企業や大学等において国の職域接種について独自に検討が進められていると伺っております。
- ・市としては、実施予定の企業等に対し、接種券の発行など必要な協力を行うとともに、国の職域接種の対象とならない企業・団体等から要望をいただいていることから、郡山医師会と協議しながら、実施に向けた検討を進めてまいります。

(4) 生理用品の無料配布について

コロナ禍により生理の貧困に悩む女性へということで生理用品の無料配布を行う自治体の例が見られるようになりました。

郡山市ではコロナ禍でなくとも当然のこととして困っている方の支援はあるものと思っております。今回の6月定例会の議案には、小中学校の保健室にしっかりと配置することが提案されており喜ばしいことと存じます。

しかし、市の窓口への設置については、お話を伺いましたら、日常生活における生理用品の費用は、生活保護者の場合は保護費の中に含まれているので、その中で対応いただいているとのことでした。

そして、市中に流通しなくなってしまったということもなく、また困ったと市の窓口においでになる方もいなかったことから、窓口には準備等はしていないとのことでした。

今のコロナ禍の中で生理用品の支援を願い出る方がいなかったとはいえ、仕事やアルバイトがなくなってしまった方はいるわけで、まだ生活に余裕があるとは判断できません。コロナ禍による経済の停滞は確かであります。

コロナ禍でなくとも困ってしまった女性の為に、生理用品を市の窓口でいくばくか無料配布できるよう準備しておくべきと考えますが、見解を伺います。

回答

- ・「生理の貧困」については、各地方公共団体が独自の取り組みで対応しており、その70%以上が防災備蓄品を調達元として、期間や数量を限定的に提供している対応が多いものと認識しております。
- ・本市においては、引き続き生活困窮者の方が生理用品を購入できる状況を維持できる支援を継続するとともに、窓口で求めがあった場合の対応について、備蓄品の活用を含め検討してまいりたいと考えております。

質問 デジタル化時代に対応するための高齢者支援について

コロナワクチン接種の申し込みにおいて、電話の集中により繋がらない、インターネットもアクセスの集中で繋がりにくい状態が続きました。

電話台数、担当職員を増やす等の対応を取ったわけですが、高齢者から、娘とともに一日電話をかけ続けたが無駄骨であったと聞かされました。

ここで、自らパソコンやタブレットを使って申し込みを完了した高齢者の方はどの位いたのかと考えてしまいます。私が耳にしている中では、ほとんどが子供に入力してもらったとの話ばかりです。

郡山市のほぼ全域に光回線が入り、また大多数の家庭にも Wi-Fi 環境が整いつつある今ですが、高齢者側の対応が追い付いておりません。

WindowsXP、Vista、7、8、10へのOS（基本ソフト）やアプリケーションの変遷が目まぐるしく、機種変更が追い付かず、OSの切替ごとにパソコン等から離れてしまった高齢者が多いのではないのでしょうか。

以前は公民館主催のパソコン教室がありました。現状はどうなのでしょう。パソコンの基礎講座を希望する市民の数が少ないのでしょうか。

デジタル化が急速に進展する今ほどパソコン等が使えることが必要とされる時代に対応するための高齢者支援が必要なのです。

情報の宝庫である郡山市のホームページを閲覧、または各種手続きを行える程度の技術を習得できる、市民に身近な公民館パソコン教室を復活すべきと考えますが見解を伺います。

回答

- デジタル化時代に対応するための高齢者支援については、本市では2001年度から2005年度まで、IT講習会を公民館等で1,110講座実施し、18,884人の皆様に受講いただきました。
- 現在は、デジタル端末の中でスマートフォンが最も普及していることから、公民館においては、主にスマートフォンを活用した初心者向けインターネット講座を実施しております。
- また、本定例会に上程されております「スマートシニア応援事業」では、講演会や初心者向けデジタル体験講座により、高齢者のデジタル機器への抵抗感の軽減と活用意欲の向上を図ることとしております。
- 今後におきましても、ネットワーク上で情報がどのような形態で提供され、それに対してどのような講座を提供していけばよいのかについて、受講者の年代等の属性や、スマートフォン等機器の特性や有用性を考え合わせ、ニーズを踏まえた最善の講座を提供できるよう実現を目指してまいります。

(保健福祉部 健康長寿課)

(教育総務部 生涯学習課)

質問 乗合タクシーについて

市周辺部における路線バスの廃止に伴い導入されている乗合タクシーについては、令和元年6月から運行を開始し、3年目に入っております。

私の地元の西田町においては、高校生から高齢者まで月に200人を超える方々に利用されており、とても便利だとの声を頂いております。

来年4月からは片平地区、中田地区においても導入される予定となっており、ますます市民の足として利用が増えると見込まれますことから、さらなる利便性向上が図られるよう、以下お伺いします。

(1) 各地区の利用実績について

これまで導入されてきた熱海、日和田、西田、田村、安積、三穂田、逢瀬、喜久田地区における利用実績は月平均どの程度なのかお伺いします。

回答

:回答は全て建設交通部 総合交通政策課

- 2019年6月の運行開始以降、本年5月末までに延べ3,378名の利用があり、延べ2,473便の運行でした。
- その内訳としては、月平均で利用者の多い地区から、西田地区210.6名、122.5便、逢瀬地区206名、198便、熱海地区33.3名、26.2便、喜久田地区20名、20便、三穂田地区19名、17便、日和田地区13.7名、13.4便、田村地区7.9名、7.6便、安積地区5.5名、5.5便となっております。

(2) これまでの経過における課題について

これまでの経過の中で、利用者や運行事業者等から様々なご意見を頂いていると思いますが、今後に向けての課題等について、どのように認識し、見直しを図って

行くのか見解を伺います。

回答

- 運行を開始した2019年6月からこれまで、利用者、運行事業者、地域住民等からのご意見や利用状況等を基に、運行時間の増設・変更、利用料金の見直し、目的地の追加、運行エリアの拡大など、利用者の視点に立った柔軟な対応に努めて来ました。
- このような中、利用状況を見ますと地区によりバラツキがありますが、まだまだ利用が増えない地区があることから、予約方法や目的地、運行時間などについて、更なる見直しが必要であると認識しております。
- 現在、利用者アンケートの実施や運行事業者との定期的な意見交換会の開催について、郡山地区ハイヤータクシー協同組合と調整しております。
- 今後におきましても、市民の足として、より多くの方々にご利用いただけるよう、地域ニーズに添った柔軟な運行に努めてまいります。

(3) 地域内での運用について

各地区の行政センターの周辺には、金融機関が立地しており、地域住民から乗合タクシーを利用したいとの意見を頂いておりますことから、行政センター周辺を目的として指定できないのか見解を伺います。

回答

- 地域内での運用については、乗合タクシー運行にあたり、地域住民との協議により目的地や運行時間を設定してきました。
- 本年4月から運行を開始した逢瀬地区から、目的地追加の要望が出され、周辺における施設の状況や地域住民の利便性向上、さらには地域活性化の視点から目的地を追加し、6月14日から運用を開始したところであります。
- 今後におきましても、地域の方々からのご意見を基に運行事業者の協力をいただきながら、目的地の設定について検討してまいります。

支部だより



悲願まもなく日の目！ 李田支部

道幅は狭い、急カーブで見通し悪い、東側は崖、落ちれば川へ、西側は高い法面、崩落の危険性大、冬場は路面凍結なかなか溶けない・・・、まるで「危険の塊」のような市道大田2号線の李田地区。

改良工事の要望は、長が～い！長が～い！年月に渡る地元の悲願でした。

ようやくにして熱意が届き、今年の秋には見通しのよい本格的な道路として日の目を見ることが出来ます。喜ばしいかぎりです。



(撮影 2021年7月)

(寄稿:T.H)



熱い！奉仕のこころ 根木屋支部

「ねぎや」オリジナル クリーンボックス(右の写真)5基がこのほど完成しました。

旧ボックスは二十数年経過し老朽化が激しいので、鉄製で新規に作製したのですが、今回機械器具の取扱い、建設業としての専門的な知識と技術を有する方々に、惜しげもなくそれらを提供いただき完成しました。

地元の方々は、この熱い奉仕のこころに感謝！感謝！です。(寄稿:Y.M)



「ねぎや」オリジナル クリーンボックス

(後援会資料)